

# 西洋医学書翻訳の火付け役、「解体新書」



すぎ た げん ぱく

杉田玄白をはじめとする7名のチームは、「ターヘル・アナトミア」(蘭語)を中心に、西洋の複数の解体書を翻訳し、11回ものすい こう推敲を経て、1774年に西洋医学の翻訳書「解体新書」を刊行しました。

一日も早く世に出そうと、多少の誤訳を残しての出版となりましたが、その後、玄白、良沢の弟子のおお つき げん たく大槻玄沢が改訂を引き継ぎ、1826年にようやく「重訂解体新書」が完成しました。

玄沢は、「し らん どう芝蘭堂」の開塾、蘭学入門書「かい てい蘭学階梯」の刊行など蘭学の普及に尽力いたしました。



大槻玄沢像 早稲田大学図書館 所蔵

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.